

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理
事務事業名	施設整備費	事業コード	13110	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	~63年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法、児童福祉施設最低基準

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
公立保育所に入所している児童及び職員の安全で衛生的な保育・職場環境を保つとともに、安全な給食の提供を行うため、必要な施設の整備を実施する。		保育所入所児童、保育所職員	
		対象数	2,768人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・麻溝台保育園及び陽光台保育園冷房設備設置工事の実施 平成13年度決算(見込)額 47,089千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	公立保育所への冷房設備の設置
		計画年次	13年度~16年度
		・平成13年度主要事業計画に基づき、計画的な冷房設備の設置について推進する。	

4 評価指標

指標名	公立保育所への冷房設備の設置率		
指標式	H13年度までの冷房設備設置済み園数 / 冷房設備設置予定園数 × 100		
指標設定の意図	冷房設備の設置予定園数における設置済み園数の達成率により成果を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	0	0	a 14.2	b 14.2	35.7
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	47,089	63,684	43,940
	人員・時間数	0	4.0人:251時間	4.0人:251時間	4.0人:251時間
	人件費		1,049	1,049	1,049
	その他経費	0	0	0	0
	合計	0	48,138	64,733	44,989
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{14.2}{14.2} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	計画どおり施設整備が進んでいる。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	保育所における冷房設備については、時代変化に伴いその必要性が要求されている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	冷房設備の設置に要する費用は、施設の老朽化及び特殊性を考慮すると現状の設置費用が妥当ではあるが、当然設置に伴い、その維持管理費用(電気料等)が発生するため、効率的な使用方法が求められる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	当事業を保育所の設置者及び管理者である市が実施していくことは適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	当該事業実施に伴う保育環境の向上は、目覚しいものがあり、保育所入所児童及びその保護者の満足度は高い。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	上位施策である「保育環境の整備・充実」を実現する有効な手段として位置付けることができる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 平成16年度までの事業として位置付けられているが、保育環境の向上を1日も早く実現する必要性は高く、財政状況の推移を考慮し事業実施の前倒し、早期実施の必要性がある。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 冷房設備等の新製品又は同等能力の代替品を検討することにより、コスト改善の余地はある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	公立保育所における冷房設備については、夏季期間中の保育園児の健康管理及び安全な給食の提供さらに保護者等からの要望を含めその必要性が高く、出来る限り早期に設置する必要がある。平成13年度までで改築等の大規模建替事業に伴う冷房設備の設置を図った保育園を除き、18園中14園が未設置であり、コストを低廉に抑える方策を検討しながら、極力早期に全園への設置を行なう。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了			

8 二次評価における変更点

--